

平和な世へ思い ダバオで慰霊祭



フィリピン・ミンダナオ島ダバオに移住して太平洋戦争の犠牲となった人々のみ霊を慰める第48回ダバオ慰霊と交流の旅(主催・県ダバオ会、共催・県、県遺族連合会)は16日、ダバオ市内旧日本人ミントタル墓地「沖縄の塔」で慰霊祭を開いた。

県内外から71人が参加した。16日、参加者たちは黙とうをささげ、平和な世を築き上げていく思いを一層強めた。一行は、タモガン避難地の「平和友好記念碑・納骨堂」やドブガン墓地なども訪ね、戦没者を追悼した。父をダバオで失った山内サダ子さん(73)は八重瀬町



「沖縄の塔」で黙とうをささげる遺族
16日、ミンダナオ島ダバオ(沖縄ツリスト提供)

と宮里キミ子さん(71)は那覇市は今回初めて参加した。山内さんは「塔に手を合わせると涙が止まらなくなつた。来年は子や孫たちも連れて参加したい」と話した。